



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,714	14.0	1,023	102.8	1,015	106.9	669	188.4
29年3月期第1四半期	4,135	△27.9	504	△47.1	490	△48.3	232	△55.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,120百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △76百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	58.37	—
29年3月期第1四半期	20.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	26,859	18,248	59.6
29年3月期	25,450	17,311	60.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 15,997百万円 29年3月期 15,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	10.00	—	16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	6.5	2,100	2.6	2,000	△0.2	1,000	1.3	87.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	11,500,000株	29年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	23,067株	29年3月期	23,067株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	11,476,933株	29年3月期1Q	11,476,933株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、不安定な海外政治情勢や地政学的なリスクにより世界経済の変動に留意すべき状況が継続したものの、輸出関連企業を中心とした企業収益や雇用環境の改善傾向が見られ、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、クレゾール誘導品や光学部品用途向け特殊ビスフェノールにおいて競合他社との競争により厳しい状況が続きましたが、自動車用特殊ビスフェノールの需要は引き続き好調を維持し、また電子材料では半導体関連の需要回復が見られました。

その結果、売上高は4,714百万円(前年同四半期比14.0%増)、営業利益は1,023百万円(同102.8%増)、経常利益は1,015百万円(同106.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は669百万円(同188.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や農医薬品、電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第1四半期においては、厳しい競合状況から販売低迷が継続したため、売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

・ビスフェノール

ビスフェノールは、パソコン・スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる耐熱性・精密成型性に優れた液晶ポリマー(LCP)の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第1四半期においては、情報通信・パソコン市場等の低迷によるLCP向けの低調に加え、PPSUについても需要の立ち上がり遅れによる販売減の影響等から、売上高はほぼ前年同四半期並となりました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は1,946百万円(前年同四半期比2.0%増)、総売上高に占める割合は41.3%となり、セグメント利益は376百万円(同74.9%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当第1四半期においては、半導体市場はスマートフォン向け需要が堅調であり、フラットパネルディスプレイ市場は前年度第4四半期の市況回復を経て、引き続き堅調に推移しており、売上高は前年同四半期を上回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(エポキシ封止材・積層板用途向け)の原料として使用されております。

当第1四半期においては、光学部品用途向け樹脂原料について市場における競合の影響や、新品目の立ち上げ遅れ等が影響し、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、827百万円(前年同四半期比6.9%増)、総売上高に占める割合は17.5%となり、セグメント利益は226百万円(同345.4%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しており、引き続き需要は好調に推移しております。当第1四半期においては為替変動の影響により、売上高は前年同四半期を上回りました。

・受託品

受注数量が増加したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、1,820百万円(前年同四半期比34.2%増)、総売上高に占める割合は38.6%となり、セグメント利益は600百万円(同2.8%増)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は120百万円(前年同四半期比24.0%増)、総売上高に占める割合は2.6%となり、セグメント利益は9百万円(前年同四半期は16百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加(666百万円)、売掛金の増加(198百万円)、商品及び製品の増加(442百万円)等により、対前年度末比1,375百万円増加し、16,574百万円となりました。

固定資産は、対前年度末比33百万円増加し、10,284百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比1,408百万円増加し、26,859百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加(624百万円)、長期借入金の減少(239百万円)等により、対前年度末比471百万円増加し、8,611百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(486百万円)、非支配株主持分の増加(250百万円)等により、対前年度末比937百万円増加し、18,248百万円となりました。

この結果、自己資本比率は59.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,313	6,980
売掛金	4,691	4,889
商品及び製品	3,016	3,459
仕掛品	270	305
原材料及び貯蔵品	645	655
その他	261	283
流動資産合計	15,199	16,574
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,714	6,745
その他(純額)	2,685	2,695
有形固定資産合計	9,400	9,441
無形固定資産	48	43
投資その他の資産	803	799
固定資産合計	10,251	10,284
資産合計	25,450	26,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,714	2,339
短期借入金	1,958	2,023
未払法人税等	307	288
役員賞与引当金	15	3
その他	1,120	1,203
流動負債合計	5,116	5,859
固定負債		
長期借入金	239	—
役員退職慰労引当金	55	15
退職給付に係る負債	1,797	1,820
その他	930	915
固定負債合計	3,023	2,751
負債合計	8,139	8,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,892	13,378
自己株式	△14	△14
株主資本合計	15,391	15,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	76
為替換算調整勘定	△90	76
退職給付に係る調整累計額	△50	△33
その他の包括利益累計額合計	△80	119
非支配株主持分	1,999	2,250
純資産合計	17,311	18,248
負債純資産合計	25,450	26,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,135	4,714
売上原価	3,156	3,234
売上総利益	979	1,479
販売費及び一般管理費	475	456
営業利益	504	1,023
営業外収益		
受取配当金	2	2
為替差益	0	4
還付所得税等	2	—
その他	1	0
営業外収益合計	7	8
営業外費用		
支払利息	13	11
固定資産除却損	8	3
その他	0	0
営業外費用合計	21	16
経常利益	490	1,015
税金等調整前四半期純利益	490	1,015
法人税等	155	231
四半期純利益	334	784
非支配株主に帰属する四半期純利益	102	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	669

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	334	784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	15
為替換算調整勘定	△427	303
退職給付に係る調整額	20	17
その他の包括利益合計	△410	336
四半期包括利益	△76	1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13	869
非支配株主に係る四半期包括利益	△89	250

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,908	773	1,356	4,039	96	4,135	—	4,135
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,908	773	1,356	4,039	96	4,135	—	4,135
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	214	50	584	850	△16	834	△329	504

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△329百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△329百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,946	827	1,820	4,593	120	4,714	—	4,714
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,946	827	1,820	4,593	120	4,714	—	4,714
セグメント利益	376	226	600	1,203	9	1,213	△190	1,023

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△190百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△190百万円が含ま
 れております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。